

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

38号

2010.6.12 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

1月23日(土)… ツツジの園再生 / 定例活動

2月27日(土)… アカマツ林再生プロジェクト / 定例活動

3月27日(土)… 第12回萌え木祭り / 定例活動

4月22日(土)… 2010年総会&竹林管理 / 定例活動

1月定例活動

ツツジの園再生 & シイタケ菌打ち



ようどウッドデッキの場所から斜面を登りきった位置にあたります。



▲ツツジの園再生作業のようす

ヒサカキやソヨゴなどの常緑の中低木を除伐するとその下に地面を這うように生き残ったツツジが出てきます。ツツジの生育には日当たりが大切です。

事前に真弓さんから解説を受け、今年日照を受け来年の花芽がやっと成長し、花が咲くのはその翌年であることを知り、森の作業の楽しさを気長に待つことになります。

お昼は、これも例年の楽しみとなった野浪さんの自家製餅と今年はぜんざ

いを作ったの豪華版となり、皆元気がいっぱい。

昼からは、これも恒例のシイタケの菌打ち作業です。秋に除伐したコナラのほど木にドリルで穴を空け、ゴムハンマーで駒菌を打ちこみます。初めて菌打ちを体験する会員も多く、ドリル班と菌打ち班に分かれ、夢中で作業すること、約1時間。この菌打ちもシイタケが出るまでにほぼ二年がかりと、気長に待つ森の楽しみその2となりました。(大館)



▲シイタケ菌打ち作業のようす

2日前から、前線の通過で寒さが強まり小雨も降ったりと天気が心配されていた、1月23日(土)恒例のツツジの園再生作業を行いました。集まった会員は18名。毎年整備する場所を変えながらの作業で、今年は集いの広場北側奥の尾根周辺を整備しました。ち

森くらぶの『ガイドブック』作製中!

今年度、区の助成を受け、オアシスの森の魅力や、森くらぶの活動を紹介する『相生山緑地オアシスの森ガイドブック』を作製することになりました。

A2サイズ両面フルカラーで情報量たっぷり。ポケットに入るサイズに折りたたんであるので、持ち運びにも便利。…ということで、出来上がりがとっても楽しみですよね!

実はこの話、昨年の秋頃から持ち上がりまして、いずれにせよ、これまでのパンフレッ

トが森くらぶ発足当初に作製したもので、更新が望まれていたものですから、最悪は自腹覚悟で準備に取りかかることになりました。

具体的な作業は年明けからでしたが、会長以下数名のスタッフで編集会議を重ねて内容を練り上げ、助成が決定した4月以降は印刷業者さんとも入念にやりとりしながら、着々と作製作業が進行しています。

まもなく完成予定ですので、皆さん乞うご期待 (^o^)/



2月定例活動

アカマツ林再生プロジェクト



不順な天候続きで雨が予想されていたのに、開会時には青空が広がり、ヒサカキの花も開花、独特の春の香りに山は包まれていました。最近はコンスタントに参加して下さる方が多く、20名での作業開始となりました。

当日は「タウンニュースてんぱく」の方が取材に来られて、まず全員で記念撮影。その後、眞弓さんからこれまでの経過及び当日の作業手順の説明を受けました。

これまで手入れしてきた個所には明らかに良好な変化が現れています。生き延びた松は生氣を取り戻し、根元に

は多数の若松が育っています。

しかし、まだ手を付けていない場所では、ヒサカキ、アラカシ、ソヨゴ等が大きく育って松を攻め立て、地面は落ち葉で富栄養化しています。これまでどおり松の周りの雑木を除去して空間を確保、ごうかきで腐葉土を域外に出す方針で作業にかかりました。

大勢の力はすごく、またチェーンソーを使える方も参加していたので、作業はてきぱきと小気味よく進み、終了時にはアカマツ林がかなり拡大しました。いつかマツタケの採れる日が来るかも！

(伊藤 晶)

参加から1年を迎えて

早川 正則

小生にとって2月27日の定例活動日は記憶に残る一日となりました。

昨年の3月、萌木祭りから参加させていただくようになりこの日をもって1年のひとくりになったからです。

或る8時間スケジュールのトレッキングに参加したい一心で体力づくりも目指してお仲間にしていただきました。

まだまだですが、1年の継続は可能性も見いだせる域にはあろうかと自信らしきものを感じています。

アカマツ林を復活すべく親木のあるうちに手掛けることの意味を教わりました。尾根筋の痩せ地が好環境とのことも同様に…ただ、樹木の名前は勿論、価値も役割も判断できないので剪定には関われずもっぱら落ち葉処理に専念しました。

実生の若い松もまだまだ心許ないほどの細さ、それでも何年かの成長と聞き、自然の時間スパンを実感させられました。

自然の中に身を置くこと、そのことのみで与えられた生命力に、なにがしかのプラスアルファを頂いていると感じるのは私だけでしょうか。なお多くの方々には味わっていただきたいとも…

ホームグラウンドでの活動が一日も長く続けられることを願っています。

3月定例活動

第12回萌木祭り



菜種梅雨を思わせる毎日でしたが、当日は幸い青空に一転、寒さも忘れる夕々の陽気となりました。

我が家では、いつもは常夏のハワイに住む4歳の孫が来名していて、この日が滞在の最終日でした。かねてから孫を連れて里山活動を体験させたいと

の私の願いが叶えられました。

“萌木”にふさわしく、ツツジも可憐な花を現し始め、木々の芽も吹き出して自然の美しさに見とれました。

女性陣はこの日のためにぜんざいの用意を、他の会員は小屋近くの竹林の除伐とイモ畑の整備を行いました。その間を縫ってトンボ池のオタマジャクシを期待して行きましたが、未だ姿なく、幼子はそれでも池の周りでしばらく楽しんでおりました。それからアカマツ林まで森林浴をたっぷり受けながらの歩行、足取りのしっかりした成長ぶりにババ馬鹿を感じました。

孫が歩きながら“ここが気に入った (I like this place!)”と言ったときは、びっくりすると同時に私も大満足でした。その後、竹林の除伐も一緒にさせていただきました。お昼はお餅や掘りたてのタケノコを竹炭で焼いたり、またぜ

んざいを皆さんといただいたりしました。皆さんの優しい眼差しに囲まれて、おかげさまで事故もなく、うれしい一日を過ごすことができました。ありがとうございました。(河野)



▲小屋付近の雑木林に侵入した竹を除去した際、開花前のヤマザクラの巨木まわりも整備。

4月定例活動

2010年総会&竹林管理



当日は晴天に恵まれ、午前10時からタケノコの生えている竹林の中で、数ヶ所に分かれて竹の伐採に取り組んだほか、ジャガイモ畑の手入れを行った。午後2時半頃無事作業を終了して、

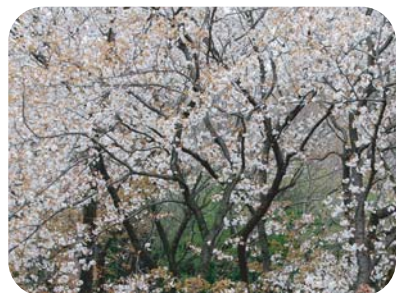
引き続き総会（出席者20名）を行い、原案通り決定した。会長以下、役員選出については全員留任となったが、その中で、運営委員の選任の話題が出された。検討の結果、特に運営委員を決めるのではなく、より多くの方が運営委員会に出席し、自由に論議することとなった。また、名簿作成の件については、プライバシー保護のため希望があれば連絡先等を削除した上で、配布できることとした。

なお、竹林伐採の方法について感じたことを言えば、伐採場所に比べ参加人数が多いので、ケガ防止のため各自それぞれ伐採するのではなく、2～3名位のグループに分け、なお場所を区分して行った方が良いと思う。伐採時期についても検討してはどうか。例えば、

竹細工に使用する竹は冬至の頃が一番良いと聞いている。少なくとも12月から2月頃まで。また、林内で竹の侵入を防止（竹を根絶）する場合、竹林として管理する場合など、それぞれの適期に実施した方が効率がよいと思う。いずれにしても「安全第一」で「楽しく」参加していきたい。（村田 正）



▲山根口での竹林整備のようす



主な決議内容

- 【役員】 ○会長／大館 学 ○副会長兼運営委員長／真弓 浩二
- (全員留任) ○書記／近藤 真史 ○会計／村田 英二
- 会計監査／森 勝 ○運営副委員長／永田 修二
- 事務局／伊藤 百寿人、中島 巳治男
- 【運営委員会】 運営委員会には、会員全員が自主的に出席し、積極的にクラブの運営にたずさわること。
- 【年間活動予定】 次ページのとおり。

シリーズ『森の住人たち』②④

～イセノナミマイマイ～

－東海地方平野部の大型カタツムリ－

イセノナミマイマイ オナジマイマイ科
 体長 殻高22mm 殻径39 mm
 分布 西三河以西、三重、和歌山北西部、岐阜、滋賀、京都などに点在して分布
 食餌 落ち葉、苔、キノコ類、枯葉などに付着した菌類など、また貝殻を形成するために必要なカルシウムを含んだものなど



▲休眠中のイセノナミマイマイ

相生山緑地の外周を歩くと、畑の端にカタツムリの殻がいくつも散らばっていることに気づく。死貝である。日々緑が濃さを増していく季節は、その殻の白さがまぶしい季節でもある。

山根口から緑地に入る。案内板を通り過ぎるとき、案内板の杭に、じ

っとしているイセノナミマイマイに気づいた。名古屋周辺でカタツムリといえば、この種である。夜行性のため、日中は休眠中である。

♪「デンデン ムシムシ カタツムリ つのだせ やりだせ あたまだせ～」
カタツムリを見つけると、つい口ずさんでしまうのは、その姿のかわいさゆえだろう。

歌詞の、「デンデンムシ」の語源は、「でんでん」つまり、カタツムリに向かって「出ろ、出ろ」という言葉がなまったものではないかといわれている。これは民俗学者の柳田国男の説である。その名を高校生の時知り、著書を何冊か読んでいた作家に対して恐れ多いことだが、私の考察は

異なる。カタツムリが角を出さないことに対して、「出ん、出ん」という言葉がなまったのではないかと推察する。また、カタツムリ（渦）にいるツブリ（螺）なので、カタツムリといわれる。「渦」は陸の意味であり、「螺」は巻貝を意味する。つまり、陸に住む巻貝という説もある。

カタツムリは、その歩みが示すように他の生きものと比較して非常に移動性に乏しい。つまり環境変化の影響を受けやすいといえる。カタツムリの多数の種が絶滅、もしくは絶滅の危機にさらされているのが現状である。かわいさのみならず、気になる存在である。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

Schedule

【2010年度活動予定】

☆：定例活動 ★：特別活動

特記以外は **集いの広場 10:00集合**

●：運営委員会

偶数月は第2土曜の午後 **相生小学校 13:30～**

奇数月は第2日曜の午前 **相生小学校 10:00～**

☆6月26日(土) トンボ池周辺整備&竹林整備

●7月11日(日)午前 運営委員会

☆7月24日(土) 森の調査

●8月7日(土)午後 運営委員会 【注意!】
この回は第1土曜です。

☆8月28日(土) 巣箱づくり (相生小学校にて)

●9月12日(日)午前 運営委員会

☆9月25日(土) 柴刈り大会・いのちの谷整備

★10月2日(土) 天百区写真&イラスト展参加
(クラフト教室：区役所講堂にて)

●10月9日(土)午後 運営委員会

★10月11日(月・祝) アサギマグラマーキング

☆10月23日(土) 第12回どんぐり祭り

★10月24日(日) 天百区民まつり参加
(天白公園にて)

●11月14日(日)午前 運営委員会

☆11月27日(土) 竹林の整備&竹炭用材づくり

●12月11日(土)午後 運営委員会

☆12月25日(土) 正月準備&梅の剪定

2011年

●1月9日(日)午前 運営委員会

☆1月22日(土) ツツジの園再生&しいたけ駒菌打ち

●2月12日(土)午後 運営委員会

☆2月26日(土) アカマツ林再生プロジェクト

●3月13日(日)午前 運営委員会

☆3月26日(土) 第13回萌木祭り

Information

●●● 会員募集中! ●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

【参加申込み・お問合せなど】

事務局

伊藤百寿人 052-895-8523

中島己治男 052-803-9534

【Eメール】

Mail address :

aioiyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

【ホームページ】

URL address :

[http://f44.aaa.livedoor.jp](http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html)

[/~oasis/index.html](http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html)

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!

お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!